

令和5年度宇治市の家計簿

普通会計の歳入・歳出決算額を1/10,000にして、
一般家庭に例えると・・・

前年度からの
増減

具体的には・・・

○収入

給与などの収入	573 万円	〔 -8 万円〕	市税、譲与税、交付金、使用料など
親からの仕送り	102 万円	〔 +8 万円〕	地方交付税
ローン（家・車の購入のため）	30 万円	〔 +17 万円〕	道路・河川の整備、学校改修などの資金
ローン（生活資金のため）	4 万円	〔 -4 万円〕	臨時財政対策債
預貯金の引き出し	4 万円	〔 +1 万円〕	基金繰入金
繰越金	13 万円	〔 +2 万円〕	繰越金



収入合計 726 万円 〔 +16 万円〕

令和5年度の家計は・・・

昨年度と比べて、給与収入が減ったものの親からの仕送りやローン収入が増え、収入合計は増えました。しかし、生活費や家・車の購入の支出が増えたため、収入合計と支出合計の差し引きは昨年度と同額になりました。今後も生活費は増えることが見込まれているほか、家・車についても老朽化が進んでおり、修繕や改修などに伴う支出も増える見込みです。

このように、厳しい状況が続くことが見込まれていることから、生活費の抑制はもちろんのこと、その他の支出についても無駄がないか徹底的に見直し、ローンの借り入れに無理がないのか、預貯金の残高にも気を配りながら、家計の安定に向けて、引き続き努力や工夫が必要です。

なお、ローン残高は、借り入れより返済が上回っているため減少し、預貯金残高は、積み立てを行うことができたため増加しました。今後も将来の支出に備えて、預貯金の積み立てを行っていく必要があります。

前年度からの
増減

具体的には・・・

○支出

生活費など	320 万円	〔 +5 万円〕	人件費、扶助費、維持補修費など
子どもの教育費など	173 万円	〔 +1 万円〕	教育費、民生費のうち児童福祉費
保険料・下水道費用	91 万円	〔 +1 万円〕	国保特会、公共下水道事業などへの繰出金
家・車の購入	58 万円	〔 +12 万円〕	道路・河川の整備、学校改修費用など
貸付金など	18 万円	〔 -2 万円〕	貸し付け事業の費用（年度末には返金）
預貯金の積み立て	7 万円	〔 ±0 万円〕	基金への積立金
ローンの返済	45 万円	〔 -1 万円〕	公債費



支出合計 712 万円 〔 +16 万円〕

差し引き 14 万円 〔 ±0 万円〕

ローン残高 380 万円 〔 -10 万円〕 年度末の市債残高

預貯金残高 119 万円 〔 +3 万円〕 年度末の基金残高

（市民一人あたりローン及び預貯金残高の推移）（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ローン残高	225,345	214,155	210,228
預貯金残高	60,472	63,338	65,813

